

2020年10月12日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- アゼルバイジャンとアルメニアの戦争、その背後にあるもの -

[YouTube : 2020年10月12日中東時事アップデート](#)

[アミール] シャローム、アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤの自宅から、お届けしています。ほんの数時間前に、ビデオ配信に必要な速度のインターネットをインストールしました。上手くいくと良いのですが。コロナ感染件数の高い国に行くたびに、帰国後、隔離が義務付けられているので、まだ教えたりアップデートができるのは、素晴らしいことです。

イスラエルで、今、起きていることを、少しご説明します。私が家に閉じこもっている理由が、お分かりいただけるでしょう。約2週間前、イスラエルの首相が、イスラエルのCOVID-19の件数が非常に高い事を懸念して、特に、イスラエルの超正統派とアラブ社会が酷くて、そこは、非常に密集したコミュニティである上、彼らは、法律や政府の指示に従わなかったために感染者数が非常に多く、その為、イスラエルは、再びロックダウンを余儀なくされました。国がロックダウンするのは、全世界で初めての事です。ロックダウンは、これまでも、また現在も、まだ所々で使われていて、私は、これは人を支配するひどい方法だと思います。しかも、本当の問題は、家に人を閉じ込めることとは何の関係もないことを、誰も理解していないと思います。しかし、皆さんに理解していただきたいのは、このCOVIDの第二波で、唯一、国としてロックダウンしているのは、世界中でイスラエルだけです。実際、今、ヨーロッパを第二波が襲っています。マドリッドやリバプールなど、ロンドン郊外の一部、その他の地域です。事実、リバプールの様子をお見せしましょう。繰り返しますが、家から出られないように、威圧感があるのです。このバス停を見てください。これはバス停…失礼、電話ボックスです。書いてある事を見てください。



「コロナウイルス！家に留まり、命を守ろう。外出すれば、感染を拡大し、人が死ぬ。」これを見てください。これは、昨日のリバプールとイギリスです。このようなことが、今は、アメリカでも見られ、このウイルスが大袈裟に語られて操作されているのは、明らかです。つまり人を操るために、これを利用してアメリカの連邦政府ですら、そのような操作をしている知事を非難しています。ロック

クダウンに効果がないのは明白です。そんな事しても、何の助けにもなりません。一つ、お伝えしたいのは、この全貌の最初の段階で、私は、いくつかの健康上のヒントをまとめた動画を配信して、私が使っているものをお見せしました。実際、私は毎日、ビタミンD、マグネシウム、ビタミンCを摂取しています。あと、他のビタミン等の栄養補助食品と、そしてもちろん亜鉛を毎日服用しています。いいですか？ 私は、アメリカ中を回って、ちょうど2週間前、カンファレンスで話をしました。チノヒルズでは3000人以上、他の場所では1200人~1400人が参加していて、何百冊もの本にサインして、何千人もの人と握手をしましたが、私はCOVID感染はしていません。ロックダウンは他の人の為で、自宅隔離は、アメリカから帰ってきたからです。アメリカは感染国と見なされています。ですから、お分かりいただけますか？私が気になるのは、彼らは人々に健康的な生活の送り方や、こういったものを摂取して免疫システムを向上させる事を伝えず、実際に、家の中の部屋に人を閉じ込めていて、出て行けば人が死ぬと言っているのです。これが、今広がっている考え方です。私は、それは間違いであり、邪悪だと思います。全ての政府が、国民を操作するためにやっているわけではありません。正直なところ、私は確信していますが、私達が今日にしているものの多くは、大部分において、アメリカの選挙に関係していると思います。今、世界中で起こっていることの大部分が、アメリカの選挙に関係しています。というのも、このロックダウンや、ウイルス、死者数などが操作され、捏造^{ねつぞう}されている事が私には明白になったからです。そしてメディアは、いつも感染者数を利用しますが、これは全て、人々を恐れさせ、アメリカ経済を崩壊させ、ドナルド・トランプをアメリカ大統領に選出させないのが目的です。そうすれば、グローバリストのアジェンダ全体がバイデンとハリスの下で、全面

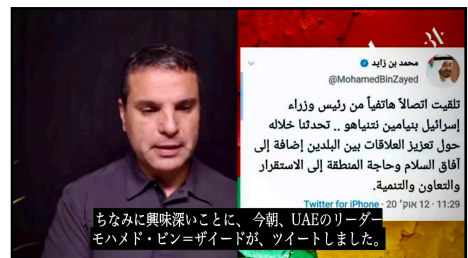
的に実行されますから。皆さんにお伝えしたいのは、ほら、他の多くの方が、それを認めています。実際、女優のジェーン・フォンダが先日テレビで言っていました。「COVID-19は、アメリカのリベラルや左翼への神からの祝福だ」もちろん、これはリベラルに対する神の祝福ではありません。これはリベラルに対する、中国の祝福です。これは中国の研究所から放出された中国のウイルスです。しかも、大部分は、前のアメリカの政権が、あの研究室とコロナウイルスに関する全ての研究に資金を提供していたのです。それから、それが放出されたタイミングは一部の人が知り、世界中のほとんどの人が知らず、もちろんアメリカの経済に壊滅的な影響を与えました。ところが、なんと！今日のアメリカの市場をチェックすると、次々と記録を更新していることがわかります。彼らは2020年、アメリカの11月の選挙に経済を利用しようとしたが、それは上手くいっていません。経済は回復していて、失業率は下がり、今、8%以下です。コロナウイルスの前は、それよりも、はるかに下でした。それが、20%か、恐らく25%以上に増えましたが、今はまた下がり、どんどん下がっています。そして今、アメリカでは、さらにすごい事が起こっていて、マイノリティが、民主党から共和党に”脱出”してトランプに投票しているのです。人々は、ブラック・ライブズ・マターや、アンティファの暴動を見えています。これは、単なる”新しい思想”ではありません。この”思想”を持つ人々が、襲撃、殺人をしていて、それだけではなく、人々が目にしているのは、暴徒の間の法も秩序もなく、混沌とした無政府状態、そして、社会共産主義国家が出来上がる様子です。そのすべては、ロシアと中国の最大の祝福を受けてのことです。勘違いしてはいけません。ロシアは、ドナルド・トランプが大統領になることには興味がありません。中国は、ドナルド・トランプが大統領になることに全く関心がありません。どちらも、民主党の指導者とその家族に賄賂を贈っていますが、それは、上手くいっていないようです。ところで、この為に、ドナルド・トランプが勝つと、彼らの攻撃が軍事行為に変わるかも知れないと私は思っています。ただ、ウイルスを放出したり、何かをして、経済を下降させるだけではなく。しかし、私は今、それについて話したくありません。



この貨物線は、はるかインドから、アラブ首長国連邦を経由して、初めて、イスラエルに停船したのです。

中東、イスラエルに話を戻しましょう。今日はとても興味深い出来事がありました。この貨物船をごらんください、皆さん。この大型貨物船が、今朝、早朝にハイファ港に入港しました。この貨物船の何がそんなに重要なのか？この貨物線は、はるかインドから、アラブ首長国連邦を経由して、初めて、イスラエルに停船したのです。アラブ首長国連邦の次に、アラブ首長国連邦から物資をイスラエルに持って来て、そして、イスラエルから、アラブ首長国連邦に物資を

持ち帰ります。初めてです！この和平は、イスラエルが、エジプトやヨルダンと結んでいる和平よりも、もっと積極的で温かく、素晴らしいものです。パレスチナ人との間にある平和より良いのは確実です。これは驚くべきことです。私達は今、イスラエルと湾岸諸国の関係が、成長しているのを見ています。書類上や、式典だけではありません。ちなみに興味深いことに、今朝、UAEのリーダーモハメド・ビン＝ザイドが、ツイートしました。これは、アラビア語のツイートで、UAEのリーダーである彼が言っているのです。「今朝、私は、イスラエルのベンジャミン・ネタニヤフ首相と、中東の平和の進展、等々について話をした。」これは驚異的です！理解してください。この人達は、世界中から攻撃されるのを避けて、”イスラエル”という名前さえ、口にすることがないのです。それが180度の移行です。その多くは、中東全体の地政学的発展に関係しています。それについては後ほどお話ししますが、あちらでアジアとヨーロッパを結ぶコーカサス山脈に関する事でさえ、です。



ちなみに興味深いことに、今朝、UAEのリーダーモハメド・ビン＝ザイドが、ツイートしました。



これは、トルコ人がガスや石油を採るために、調査船に指定している新しい地域です。ガスや石油が全てですから。

さて、今朝起こった、もう一つのことをお見せしましょう。これは地中海の地図で、この赤くハイライトされた部分を、ご覧ください。ちなみに一番上は、トルコです。これは何か？これは、トルコ人がガスや石油を探すために、調査船に指定している新しい地域です。ガスや石油が全てですから。お見せしましょう。ところで、この地域には今、船があって、その

船は、軍艦や潜水艦に護衛されています。間もなく、ヘリコプターやF-16も加わります。トルコ人は、自分たちが見つけられないものを見つけようと決意しています。これで恐らく、トルコがシリア、イラク、リビア、それから、先月末は、アゼルバイジャンでも、彼らがしている事に説明がつくかもしれません。

さて、今日のアップデートのトピックは、もちろん、「アゼルバイジャンとアルメニアで何が起きている、その背後に何があるのか」です。さて、勘違いしないでください。私は、ここで、どちらかの味方をしているわけではありません。私は、ここで二国間の状況を説明しているのです。私には、ここで、どちらかの味方につく権利すらないと思っています。私には、この危機の根の深さを知り得ませんから。遠く離れていると、AやBを批判するのはとても簡単です。しかし、私に言えるのは、私達が話している、この特定の地域は、ご覧ください。左下の地図では…後で拡大地図をご覧ください

だきますが、見ての通り、左がアルメニア、右がアゼルバイジャン、紛争地域のナゴルノ・カラバフが赤、そして、ナゴルノ・カラバフと、アルメニアの間が縞模様です。すべては、1924年までさかのぼります。もちろん、それよりもずっと前からありましたが、しかし、1924年に、スターリンが、初めてナゴルノ・カラバフに自治権を与えました。自治組織はアゼルバイジャンの中心部、または領土内の飛び地に住んでいるアルメニア人のものです。ですから、ご覧の通り、アルメニアが左端にあり、アゼルバイジャンが右端、そして、今、話している、全紛争が起きているエリアは、ナゴルノ・カラバフの最上部と、次にその最下部、縞模様の地域は、1991年から1994年にかけて戦争があって、アルメニアが占領した地域です。これは、一つのまとまった領土を得る為にアルメニアが占領した、アルメニアからナゴルノ・カラバフまでの領土です。という事で、私達が今日にしているのは、つまり、法律、国際法上、書類の上では、ナゴルノ・カラバフとその周辺のすべてがアゼルバイジャンの領土です。しかし現実には、実際にはナゴルノ・カラバフがアゼルバイジャンの手に渡っていません。ここは自治区であり、その先のすべては、すでにアルメニアに奪われています。これでお分かりいただけたと思いますが、つまり、アゼルバイジャンの中心部にある飛び地が、これまでずっと、独自のアルタフ共和国として機能しており、そこから先、アルメニアまでの全ての地域は、すでにアルメニアが占領しています。これでお分かりいただけたと思いますが、アゼルバイジャンが、国際的な「法の観点」からそれを占領するなら、それは可能です。そこは彼らの領土ですから。しかし、もちろん、それよりもずっと根深いのです。



さて、これから、皆さんを、旅にお連れしたいと思います。シートベルトをお締めください。2分間の動画です。音声はなく、私の話し声は聞こえません。2分後に戻ってきます。ソビエト連邦の解体以降、前世紀のナゴルノ・カラバフの話を見ていただきたいと思います。それでは皆さん、その動画を流して私自身は画面から消えます。2分間それを見て、それから広範囲に話をしていきます。ではご覧ください。

さて、これから、皆さんを、旅にお連れしたいと思います。シートベルトをお締めください。2分間の動画です。音声はなく、私の話し声は聞こえません。2分後に戻ってきます。ソビエト連邦の解体以降、前世紀のナゴルノ・カラバフの話を見ていただきたいと思います。それでは皆さん、その動画を流して私自身は画面から消えます。2分間それを見て、それから広範囲に話をしていきます。ではご覧ください。

1991年 ソビエト連邦解体(左)アルメニア (右) アゼルバイジャン (左上) アルメニア (右上) アゼルバイジャン (中央) ナゴルノ・カラバフ1991年-1994年:

1991年に、アルメニアとアゼルバイジャンがソ連から独立した後、ナゴルノ・カラバフをめぐる争いがエスカレートした。ナゴルノ・カラバフは、3万人が死亡した。1991-94年の戦争でアゼルバイジャンから離脱したが、国際的には独立した共和国として認められていない。

1994年停戦：1994年の終戦時には、アルメニア人が飛び地を完全に支配していた。ナゴルノ・カラバフにいるアザリ人の人口 (5) : アルメニア人の人口 (95) ナゴルノ・カラバフ共和国は事実上の独立国であるが、国際的には認められていない。

2020年9月27日エスカレート：依然として、両国共に飛び地や国境沿いの他の場所での停戦違反を互いに非難。2020年9月27日、ナゴルノ・カラバフで暴力が撃発し、双方が軍をもって激化を互いに非難。ナゴルノ・カラバフ紛争におけるイランの役割：イランは、紛争において、アルメニアを静かに支持しているよ

うである。イランは、もし、アゼルバイジャン人の独立国家が出来ると、イラン国内のアゼルバイジャン人がそこに惹かれて、それに加わり、イランが分断される事を常に恐れている。(アゼルバイジャン人は、イランの人口の約20%を占める)

ナゴルノ・カラバフ紛争におけるトルコの役割：トルコはすでに、シリアとリビアで軍事的に威嚇している。アゼルバイジャンの石油・ガス輸出を主に管理しているのはトルコである。トルコは、アゼルバイジャンの戦いを支援するために、シリアの傭兵を送っている。ナゴルノ・カラバフ紛争におけるロシアの役割：ロシアは、アゼルバイジャンに武器を市場価格で販売している。ロシアは、ロシア軍基地を抱えるアルメニアと、より強く結びついている。

ナゴルノ・カラバフ紛争におけるギリシャの役割：ギリシャは、アゼルバイジャンを支援すると明言している「永遠の敵」トルコの影響を受け、ナゴルノ・カラバフ紛争でアルメニアを支援している。

ナゴルノ・カラバフ紛争におけるイスラエルの役割:イスラエルは、アゼルバイジャンから、かなりの量の石油を輸入し、アゼルバイジャンには、武器を輸出している。イスラエルは、アゼルバイジャンに駐屯地を設け、イランを監視するための「目と耳と跳び板」としての役割を果たしている。

2020年月10日:アルメニアとアゼルバイジャンは、ナゴルノ・カラバフの停戦に合意。

はい。あちらで起こっている事を、2分ほどの短い動画にまとめました。ご覧の通り、ナゴルノ・カラバフの地域はアルメニア人が多く住む地域で、実際、私はこれを「強制的交換」と呼んでいます。アルメニア人が占領した時、アゼルバイジャン人を全員追い出し、そして今、アゼルバイジャン人が占領して、アルメニア人を全員追い出しました。だから、はっきりと分かる通り、二国の間には、ほとんど愛情がありません。一つ、明確にしておく、アルメニアは名目上のキリスト教徒で、アゼルバイジャンは、シーア派イスラム教国ですが、例えばイランのような狂信的なシーア派イスラム教国ではなく、「世俗的」なシーア派のイスラム教国です。とても開放的で、実際、イスラエルとの関係も良好です。2016年には、イスラエルの首相がアゼルバイジャンを訪問しています。アゼルバイジャンは、イスラエルから武器を購入するためにイスラエルと取引をしています。それが今、アルメニアとの戦争に加担するなんて誰が知りえたでしょう？ちなみにアルメニアは…1992年にアルメニアが建国された時、イスラエルは、すぐに承認しました。しかし、アルメニアは、今年になって初めてテルアビブに大使館を開設しました。今年！ 事実、9月中旬です。そして2週間後、イスラエルがアゼルバイジャンと取引をしたため、アルメニアは大使をアルメニアに呼び戻しました。では、ここで何が起こっているのでしょうか？我々は、友好国なのか？そうでないのか？イスラエルと取引のある相手なら、イスラエルは間違いなく助けます。ほら、アメリカは武器を売り、ロシアは武器を売り、フランスは武器を売り、イギリスは武器を売っています。その買い手は武器を必要としている国です。ちなみに、我々は、我々が売ったものがアルメニア人に対して使われるとは知りませんでした。我々の友人であるアルメニア人に。しかし言ったように、これは長期的な取引です。誰かが怒っているからと言って止めるわけにはいかないのです。しかし、一つ言えるのは、イスラエルは、この紛争に関与して、どちらの味方もしていません。我々がアゼルバイジャンに売ったものは、取引の一部で、アメリカも売っていますし、ロシアは確実です。ちなみにロシアは、双方に売っています。間違いありません。

さて、皆さんにご理解いただけるよう、ずっとさかのぼって、説明します。なぜ、この紛争が、実際に中東と私達に降りかかる将来の危機を反映しているのか？すでにお分かりだと思いますが、この地域は、三大国に囲まれています。これをご覧ください。さて、ご覧の通り、ロシアが一番上、トルコが左側、イランがはるか右側にあります。ロシア、トルコ、イランはすべて、コーカサス地方の周辺にあり、アルメニア、アゼルバイジャン、ジョージアもあります。そしてそれぞれが、この紛争を利用して、何らかの得を



しようとしているのが、はっきりと分かります。

さて、誤解のないように。9月28日にこの紛争を始めたのが誰であろうと…私はアゼルバイジャンだと思っていますが…私が思うに、彼らはスルタン・エルドアンに見事にそそのかされたのだと思います。アメリカが中東への関心を失いつつある今…実際、彼らがまだ関心を持っている場所は、唯一、イスラエルだけです。彼らはイラクやアフガニスタンなどから兵士を撤退させていて、そして、まさに中東では…湾岸の話ではありません。皆さん、トルコは、その空白を埋めようとしており、トルコは今、あらゆるところに手を出しています。トルコは現在、シリア北部を支配し、トルコはイラク北部の一部を支配し、トルコの支配下にあるリビア北西部は、テロの飛び地、テロ地域となっています。そして、トルコが非常に興味深い事をしているのです。トルコは、シリアからテロリストを連れて行き、貨物機で彼らが望むところに飛ばしています。彼らは傭兵のようなもので、彼らは、彼らを飛行機に乗せてリビアに飛ばし、リビアで不要になったら、今度はアゼルバイジャンに飛ばします。ちなみに、この傭兵たちは、自分達がアゼルバイジャンで戦うことを全く知りません。彼らは石油やガスの導入を確保すると伝えられていて、それが、そこに着くと銃を渡され、「戦いに行け」と言われたのです。中には、動画を撮って送っている人もいて、完全に驚いているのが分かります。これは良いサプライズではありません。つまり、アメリカが中東を離れていくのを見て、トルコが、より多くの支配権を得るために、文字通り操作しているのです。そして、非常に興味深い事に、トルコが先陣を切って動き出し、そしてトルコが動いているので、イランも今、何かをしなければならぬ状況になり、ロシアも、また反応しないといけない状況で、この3者はお互いが気に入りません。彼らが集まる理由は、イスラエルを侵略するためだけです。彼らは友達ではありません。シーア派イスラム教徒イランは、スンニ派イスラム教徒トルコとは友ではなく、正教会のキリスト教ロシアとは絶対に友ではありません。彼らは友達ではありません。彼らの関心は実際、ほとんど全ての場所で正反対です。ロシアは、シリアでトルコに対立し、ロシアは、リビアでトルコに対立、ロシアは今、アゼルバイジャン・アルメニア紛争で、トルコに対立しています。だからこそ、私は驚くのです。指導者たちが、それでも集まり、唯一、文字通り集まって、同じ大義を掲げるのは、イスラエルに攻め込む時です。これは驚異的です！イランの指導者、トルコの指導者、ロシアの指導者の首脳会談での写真を見るたびに、それを当たり前だと思っははいけません。彼らは他のことでは、何一つ同意しないのです。彼らは互いに愛はなく、彼らは互いの根性を憎んでいます。実際、中東の周りのどこでも、彼らは何一つ合意していません。ある事を除いては…将来のイスラエルへの侵攻。そのために、この同盟が作られたのです。皆さんがそれを理解しておくのは、超重要です。

さて、もう一つ、説明したいと思います。アゼルバイジャン人とアルメニア人が今戦っていて、2日前に達した停戦は長続きしませんでした。今も続いています。つい先ほど、アゼルバイジャンの新型無人航空機、UAVの動画を、さらに見ましたが、彼らはアルメニアの標的を攻撃しています。これまでに300人近くが殺され、主要都市が攻撃されています。アゼルバイジャンの都市やアルメニアの都市が攻撃されているのです。それはもはや、ただの「軍隊対軍隊」ではありません。そして、その地域のイスラム教徒とキリスト教徒の間に、非常に大きな憎しみがありません。それぞれが「神は私達と共におられる」と言います。彼らにとって、これは宗教的なものなのです。「どちらの神がここで勝つのか」さて、トルコがアゼルバイジャンを支援しているように、同じ形で、アルメニアを支援する者がいません。ロシアは、ここではちょっと恥をかいています。ロシアは両方に兵器を売っていますから。しかし、ロシアは現在、アルメニア人の方により同意しているようで、軍事演習を宣言しています。そして、アルメニアとの「軍事演習」とは、アルメニアに軍隊を持ち込むことを意味しており、そこに留まることになります。彼らは、周辺の全ての場所でそれを行っています。トルコは、今こうして話している間にも、さらに多くの飛行機が、何千人という傭兵をリビアやシリアから、はるばるアゼルバイジャンの国境地域に運んでいます。イランは、今…はるばるアゼルバイジャン国境に向かっていく装甲車や戦車の一団の写真や動画があります。間違いありません。イランは人口の20%がアゼルバイジャン人です。実際、アゼルバイジャンはイラン北部を自国の領土と見なしています。実際、数年前にアゼルバイジャンで開催されたユーロビジョン・ソング・コンテストでは、アゼルバイジャン人にとって、国家的に重要な美しい場所を映していたのですが、その中の一つは、実はイランの場所だったのです。彼らは、実際、イラン北部の場所を、あたかもアゼルバイジャンであるかのように見せていました。イラン人は…彼らは、どちらもシーア派のイスラム教徒ですが、イラン人は、実際にはアルメニアの味

方をします。アゼルバイジャン人の少数派が、イラン政権に対して反乱を起こすと困りますから。イランは今、内部問題を非常に恐れているのです。外からの問題だけで十分です。

さて皆さん、理解してください。イエスが「戦争や戦争のうわさ、国家は国家に」とおっしゃった時…もちろん、皆さん、私や他の先生方の話を何度も聞いておられると思いますが、ギリシャ語で言うところの「国家」ではなく、実際には民族集団、「民族対民族」です。そして面白い事に、中東では国について様々な話をし、宗教に関する話を好きなだけ語る事は出来ますが、しかし、誰が誰に敵対しているのか、誰が誰に忠誠を誓っているのかを本当に理解したいのであれば、部族の所属までズームインしなければなりません。そして今、私達は、ペルシャ人がアゼルバイジャン人を嫌っているのを目撃していて、アゼルバイジャン人は…トルコは、アゼルバイジャン人をトルコ人と見ています。彼らはイスラム教徒ですが、一方を好み、一方を嫌う、彼らがシーア派であるにも関わらず、シーア派は彼らを気に入らず、スンニ派は、彼らがスンニ派とシーア派であるにも関わらず、彼らを気に入っています。ですから、部族や民族に絞ると宗教の違いは何の意味もない場合もあります。これも理解しておくことが重要です。間違いなく、オスマン帝国を拡大し続ける為に、エルドアンはそこにいて、彼は石油を、天然ガスを見つけるのに必死です。いいですか？ 私が今朝見た動画では、トルコが支配していないリビアの反対側では、ビーチのすぐ横で人々が掘り始め、石油が出てきました。エルドアンは、常に間違った側にいます。そして、彼はいつも、その石油を探しているのに、それが見つからないのです。そして彼は、アゼルバイジャンには石油とガスが豊富にあることを知っています。だから彼は考えているのです。「彼らを助けよう！我が将軍、F-16、我が軍隊を送って彼らを助け、私もまた、あちらで恩恵を享受しよう。」これもまた、あちらで我々が目撃している事です。さて、その全てが、エネルギー、石油とガスが、中東では、非常に大きな問題である事を告げていて、まさに、その為に、連合軍はイスラエルを攻め戦争するのです。それを理解しなければなりません。また、皆さんにお伝えしたいのは、エルドアンは、リビア、シリアなど、あちこちにジハードを持ち、ガザのムスリム同胞団、それから、イスラム聖戦主義、ハマスの事も支援していて、周辺のいたるところに、ジハード主義者の地域を生み出しています。

さて、少し、アルメニアについてお話ししましょう。先ほども言いましたが、アルメニアは…アルメニア人の数は、アルメニア国内よりも国外の方が多く、アルメニア自体には300万人しかいません。しかし、世界のさまざまな場所に、膨大な数のアルメニア人が住んでいます。オーストラリア、ニュージーランド、もちろん、アメリカ、カナダ、その他、実際、カーダシアンや、歌手のシェールなど大物セレブの何人かは、アルメニア系です。実際、キム・カーダシアンは昨日、全世界に向け、動画を通してアルメニアとアルタフ、ナゴルノ・カラバフ共和国と共に、アゼルバイジャンの残虐行為に立ち向かうよう呼びかけました。ですから、アルメニアの方が声が大きく、世界的に良い広告塔がいるのは間違いありません。

さて、イスラエルについてですが、はっきり言っておきます。アルメニア国外のアルメニア人は、中東にいるアルメニア人よりも、イスラエルに対して、ずっと友好的です。エルサレムにはアルメニア人がいますが、彼らは、自らをイスラエルよりもパレスチナの友人だと思っています。レバノンにもアルメニア人がいて、実際、元大統領の一人、エミール・ラフードはアルメニア系でした。アルメニア人が…ちなみに、間違っただけではありません。イランの最高指導者には、アゼルバイジャンの血が流れています。ですから、アゼルバイジャン人とアルメニア人の血が中東地域の指導者に流れているのです。そして繰り返しますが、今年の9月17日になって、ようやくアルメニアは、テルアビブに大使館を開設しました。1992年、我々が彼らを承認し、国交を結んで以来、今、初めてです。正直に言うと、この地域ではアゼルバイジャンの方がアルメニアよりも、イスラエルに対して友好的でした。この地域の外のアルメニア人は、もちろん、広範囲で見ると、イスラエルに友好的です。しかし、中東紛争に絞って見ると、アゼルバイジャンは非常に… 彼らはイスラム教徒ですが、世俗的なイスラム教徒で、イスラエルの破滅を望むようなシーア派イスラム教の慣習は実践していません。実際、彼らは… ほら、隠すのはやめましょう。イスラエルが、アゼルバイジャンに関心があるのは、もちろん、アゼルバイジャンがイランに近いからです。イランで起こっている事に関して、イスラエルの目が届きます。イランに関して、イスラエルがアゼルバイジャンに持っているものを、全て話しはしませんが、しかし、一つ言えるのは、イランが、実際にアルメニア側で、アゼルバイジャン側ではない理

由の一つは、イスラエルが、アゼルバイジャンととても親しいからです。また、皆さんにお伝えしますが、アルメニアは、大使館開設から2週間後に大使を呼び戻したにもかかわらず、アルメニアは、イスラエルとの関係の継続を望んでいます。なぜならイスラエルは、こんにち、地域の大国として受け入れられていますから。A) 我々は、最高の軍事機器と技術、医学と農業、すべてのものを持っており、それだけでなく、我々にはまた、彼らを支援する事が出来る資源があるからです。つまり私が言いたいのは、この状況では、イスラエルは、どちらかを選ぶ必要はないと思います。さて、中には、我々はアルメニア人の側を選ぶべきだと思ふ人もいるでしょう。彼らもまた第一次世界大戦の時、トルコ軍によるホロコーストを経験していますから。ちなみに、私もそう思います。第一次世界大戦で、トルコ軍が、当時の領土内にいたアルメニア人にした事は、大量虐殺です。それは間違いありません。しかしもう一つ言えるのは…繰り返しますが、私は、アルメニア国外のアルメニア人の反感を買うつもりはありませんが、しかし、アルメニア国内では、彼らは実際にこう言っています。「いいか。我々が先にホロコーストを経験したんだ。ユダヤ人のホロコーストは、600万人も死んでないのに大袈裟に伝えられ、それで、ユダヤ人が世界を支配している。」これらは、アルメニア国内や、中東のアルメニア人の声です。他の場所のアルメニア人からは聞かないでしょうが、しかし、中東のアラブ人が多い場所では、そこのアルメニア人達は、アラブ的な立場を取って来て、彼らは常に、反イスラエルの立場をとって来て、その為、彼らは、ユダヤ人のホロコーストをほぼ否定しているのです。まさにその理由から、イスラエルは、アルメニアに大使館開設を迫って来なかったのです。しかし、繰り返しますが、皆さん理解してください。中東に住んでいなければ決して理解できないでしょうが、中東では、生きていく為に、特定のアイデンティティーが必要で、私が思うに、アラブ人に囲まれていたアルメニア人は、アラブの筋書きを受け入れなければ、アラブ人の側に立たなければ、アラブ人の中では生き残れなかったでしょう。だから、そうなった理由は、私にも理解出来ます。しかし、一方で、アゼルバイジャンは、イスラエルに対して敵対したり、反ユダヤ的な態度を取った事は一度もありません。ですから、ここでイスラエルが、実際にイスラム教徒を助け、キリスト教徒を助けない事に皆さんが驚く必要はありません。これは、「イスラム教対キリスト教」とか、ユダヤ教が選択しなければならぬ事ではありませんから。これは、それとは関係ありません。これは中東の利権が全てで、イスラエルは、アゼルバイジャンを必要としています。A)アゼルバイジャンは、かつて石油を持っていて、それを我々に売っていましたから。しかし、もちろん、それだけではありません。よく覚えていてください。現在、中東で見られている大きな変化は、すべてイランの状況によるものです。

ちなみに、イランは…間違ってはいけません。国連原子力機関が、昨日、発表しています。イランは協定に違反し、許可されている以上の速度と濃度で、ウランを濃縮しています。ヨーロッパやロシアや、国連からの非難や制裁を聞きたいものですが、いいえ。イランに制裁を加えているのはアメリカだけです。ドナルド・トランプは、唯一、イランのカードを読めている指導者で、そして彼は、イランが予想していなかったような対応をしている為、彼らは大変なショックを受けています。前回のアップデートでは、1ドル当たり30万リヤルを突破したと、お伝えしましたが、現在、1米ドル当たり、ほぼ32万リアル、ほぼ31万7千リアルです。制裁が効いています。今、イランの18の銀行に、新しい制裁が課され、アメリカは、イランが、イラン国内外の銀行間で資金を動かす道を麻痺させています。そして、イランは何をしているか？新しいミサイル、新しい潜水艦、新しい飛行機、新しい船、全てが軍事、軍事、軍事で、彼らは、本当に自国民の世話をしていません。さて、以上がアルメニアと、アゼルバイジャンで起こっている事です。繰り返しますが、思い出してください。紛争地域である、ナゴルノ・カラバフの領土を彼らは、アルツァフ共和国として宣言しました。事実上、そこは、アルメニアの支配下ですが、国際法の書面上は、アゼルバイジャンに属しています。トルコが煽あおって、あちらで戦争を起こそうとしているのは間違いありません。トルコが、アゼルバイジャンに足を踏み入れ、石油やガス、富を享受し、新しく旧オスマン帝国を作るといふ、エルドアンのビジョンの一部として、欲しいままに拡大する為です。イランもそこにおり、ロシアもそこにおり、すべては、エネルギー、支配、占領が目的です。そして、このことは、近い将来、彼らが、イスラエルに侵略してくるとき、大きな役割を果たすことになるでしょう。ですから、間違いはありません。私達は、シリアの紛争が、今や、コーカサスへ移動したのを見ているのです。ちなみに、ギリシャ神話では――私は好きではありませんが――ちなみに、ギリシャ神話では、コーカサス地方は、全世界が立っている柱となる地域だと言われています。実際、彼らは、「コーカサス地方のアラト山にノアの箱舟が来たので、世界の平和はその地域に

かかっている」とさえ考えています。ですから、多くの方が、その部分を、世界全体の、戦争や平和の指標として見ているのです。彼らはそのように見ていて、だから、彼らが戦う時は、自分達の国のためだけでなく、全世界のために戦っているのです。そこには多くの感情、宗教的な感情があります。「どちらの神が勝つか？」今、この瞬間、彼らがそう描いているのです。これは、様々な装いをした、宗教的な霊です。

さて、私から、皆さんに一言お伝えしたい事、ビホールド・イスラエルは、アメリカの選挙で正しい政府、正しい大統領が選ばれるよう祈ることに専念しています。11月3日の選挙に向けて、30日間のカウントダウンを開始しました。私達は、共和党の政策は、最も聖書に基づいた政策だと信じています。命の尊厳、家族の尊重、キリスト教の自由、親イスラエルに関して、私達は心からそれを信じ、私達は、反対側が提示している事を正確に見ています。中絶に関して、信教の自由に関して、イスラエルに関して、イラン取引の復活に関して、これらすべてのことに関して、すでに、その行き先は見えています。私達は、中国が猛プッシュしているのを見えています。今、それはウイルスと財政面からで、彼らはトランプ氏が当選しない事を願っています。今日の公聴会、エイミー…名前を忘れてしまいました…アメリカ合衆国最高裁判所の次期判事候補のエイミー・バレットの公聴会が始まりました。左翼が、どうやって彼女をズタズタにしていくのか、もう目に見えています。何のために？彼女が神を信じ、クリスチャンである為にです。彼らは、「彼女は視野が狭い」と言いますよ。「彼女は、周辺のリベラル進歩主義の世界を理解していない！」「ルース・ベイダー・ギンズバーグの後任として、彼女は相応しくない。」「ルース・ベイダー・ギンズバーグは進歩的だったが、彼女はそうではない！」ほら、民主党は、ルース・ベイダー・ギンズバーグをクローンにしなければならないと考え、「夢の国」に住んでいるのです。いやいや、そういうわけにはいきません。誰かが死ぬと、その人の後任を大統領が指名します。民主党が今使っている、新しいカードは、米最高裁を「パッキングする」ことです。彼らは、選挙前に最高裁判事を加えることで、ドナルド・トランプが、最高裁を「パッキングしている」と考えています。間違いありません。しかし、正直なところ、私はそれに気づいていませんでした。アメリカの憲法に、そのような問題があることすら知りませんでした。そこで友人に、「この『パッキング』ってなんなんだろう？」と聞いたのです。「なぜ、バイデンに、それを行うかどうか聞いているのか？」すると、友人が説明してくれました。「最高裁に裁判官を増やすかどうかは、議会が決定できる。」憲法では、人数は定められていません。そして民主党の下院、上院、大統領で、裁判官を12人でも15人でも、いくらでも増やすことができます。そこで、彼らはリベラルな裁判官を新しいポストに配置して、リベラルな最高裁を長期間確保するつもりだ。それを試した唯一の大統領はフランクリン・ルーズベルトだけで、彼は両党から締め出されました。それがパッキングです。そして彼らは、ただ死んだ人の後任を入れる事で、トランプを非難しているのです。それはパッキングではありません。民主党が計画しているのはこれです。間違っただけではありません。もし、彼らが上下両院選、大統領選で勝てば、彼らは、これを行いたいのです。

さて、バイデンが「パッキングするつもりですか？」と質問された時、彼は言いました。「選挙が終わるまで分からない」彼は言っているのです。「国民は知らなくてもいい、お前らは頭が悪すぎる。」ちなみに、彼の答えを通して、それが彼らの次のカードであることが分かります。次のカードとは「我々が勝てば、アメリカは残り、何世代にもわたって、どんどん進歩的でリベラルになるように我々がする。」彼らは、トランプが最高裁を「パッキング」しているように見せていますが、それは事実ではありません。彼は、一人の死んだ人の代わりに、一人補おうとしている、それだけです。皆さん、言うておきますが、これから、毎日、毎日、民主党の帽子から色々な仕掛けやトリックがたくさん出てきます。一つ言える事、私に言えるのは、民主党が政治の場でそれをやっている間に、もしトランプ大統領が当選したら、軍事作戦が行われるのではないかと、という懸念が、どんどん強まっています。ただ、彼らは11月3日の夜、大統領が誰なのか、まだ分からない、という状況を引き起こそうとしています。実際、彼らは郵送投票とかで何週間もかかる、と伝えようとしています。皆さんに、お伝えしたいことがあります。私の祈り、私の祈りは、11月3日には、何も待つ必要がないほど、明らかに地滑りの勝利になることです。そして、私の最大の祈りは、トランプ氏が大統領として残るだけでなく、両院ともを共和党が過半数を占めることと、そして、それに加えて、失敗した民主党の知事や市長と一緒に削除され、共和党の候補者に置き換えられることです。その理由をお話しします。私達は、トランプ氏のような素晴らしい大統領がいながら、カリフォルニアやニューヨークのように、まだ恐ろしい知事が存在し得るのを見て来ました。彼らは多くの人の死と、多くのビジネスの損失と、多く

の教会の閉鎖の責任を負っています。これに対して連邦政府は、大して何も出来ません。アメリカの憲法があって、連邦政府の介入には限界がありますから。だからこそ、素晴らしい大統領、素晴らしい議会だけでなく、偉大な州の指導者が必要なのです。カリフォルニアとニューヨークは、今、これらの恐ろしくリベラルで、進歩的な知事や市長の為に非常に苦しんでいます。私は、今日、祈っていて、「主よ、今、アメリカで起きていることに関連した聖句を与えてください。」間違っただけではありません。アメリカの問題は、世界の問題です。間違っただけが大統領がホワイトハウスに入ると、全世界が苦しむことになります。イラン協定と、それによって、その後起きた全てのこと、イランが支援した大量のテロリスト達は、今現在、数十億ドルの現金を持っています。すべては、ホワイトハウスの間違っただけの大統領のせいでした。というか、神がお許しになったのですから「間違い」ではなく、アメリカ人が選んだ「悪い選択」です。彼らは、黒人の大統領がいたらいいなと思ったのです。あれは、アメリカの歴史の中で最も腐敗した大統領でした。黒人の人達も、そう言っているくらいです。隠せるものではありません。全ての共謀、ロシアの共謀は、大統領執務室で捏造されたのです。バラク・オバマと、ヒラリー・クリントンと、シークレットサービスのトップが次期大統領に選ばれたドナルド・トランプ大統領が2017年1月にホワイトハウスに入る前に共謀しました。行ったのです。非常に興味深いことです。

一つ、今日私が祈っているときに、主から聞いたのは、今や、アメリカはある意味で世界の超大国で、いわば国々の中の王のような存在です。そして、思い出したのは、ソロモンは、イスラエルが史上最大の領土を持ち、最高の栄誉にあった時代のイスラエルの王でした。そして、第一列王記8章で、彼が、神の家を建てたとき、ソロモンが言ったことを、ご覧ください。22節

「ソロモンは、イスラエルの全会衆の前で、主の祭壇の前に立ち、天に向かって両手を伸べ広げて、こう言った。『イスラエルの神、主よ。上は天、下は地にも、あなたのような神はほかにありません。あなたは、心を尽くして御前に歩むあなたのしもべたちに対し、契約と恵みを守られる方です。(23節) あなたは、あなたのしもべ、私の父ダビデに約束したことを、ダビデのために守ってくださいました。あなたは御口をもって語り、また、今日のように御手をもってこれを成し遂げられました。(24節) そこで今、イスラエルの神、主よ。あなたのしもべ、私の父ダビデに約束されたことを、ダビデのために守ってください。『あなたがわたしの前に歩んだように、あなたの子孫がその道を守り、わたしの前に歩みさえるなら、あなたには、イスラエルの王座に就く者がわたしの前から断たれることはない』と言われたことを。(25節) 今、イスラエルの神よ。どうかあなたのしもべ、私の父ダビデに約束されたおことばが堅く立てられますように。(26節) そして彼の言ったことを見てみましょう。『それにしても、神は、はたして地の上に住まわれるでしょうか。…』(27節a)

言い換えれば、神は人がするように干渉するのでしょうか？彼の言うことをご覧ください。

「実に、天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして私が建てたこの宮など、なおさらのことです。」(27節b) しかし、わが神、主よ。「あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、主よ。あなたのしもべが、今日、御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。」(28節)

こんにち、たくさんアメリカ人が神に祈っていると思います。今まで見たこともないほどの集会、祈りの集会、断食が行われていると思います。これほどのものを、見たことがありません。アメリカ全土です。そして、私が信じるに… 私は信じたいです。これは…ほら、私達は引き止める者で、私達の中におられる聖霊は引き止める力です。そして、私達は神に言っています。「これは、あなたがしておられることです。あなたは、あなたの子もたちに対する、あなたの約束に、真実であられます。彼らがあなたの道歩むならば…」さて、皆さんはおそらく、思うでしょう。「ちょっと待って。アメリカは、神の道歩んでいません。」これだけは言わせてください。神の道歩む者のために、神は何度も、全国民に裁きが下すを、思い止めてくださいました。しかし、皆さん、一つ思い出してください。これは、第一列王記8章ですが、10章で、すでにソロモンが神の道から離れています。そして、こう書かれています。

「ソロモン王は、ファラオの娘のほかにも多くの異国人の女、すなわちモアブ人の女、アンモン人の女、エドム人の女、シドン人の女、ヒッタイト人の女を愛した。(1節) この女たちは、主がかつてイスラエル人に、『あなたがたは、彼らの中に入ってはならない。彼らをあなたがたの中に入れてもいいけない。さもないと、彼らは、必ずあなたがたの心を転じて彼らの神々に従わせる』と言われた、その国々の者であった。しかし、ソロモンは彼女たちを愛して離れなかった。」(2節) 「彼には、七百人の王妃としての妻と、三百人の側女がいた。」(3節a)

それから、聖書は基本的に11:6で、こう告げているのです。

「こうしてソロモンは、主の目に悪であることを行い、父ダビデのように主に従い通さなかった」

アメリカの指導者が敬虔で、国を敬虔へと導いている時…ちなみに、今日のエイミー・バレット判事の公聴会ですが、敬虔な女性、敬虔な家族が、徐々に敬虔な男によって最高裁判所に任命されています。これは指導者達が敬虔で、主が祝福されているときです。皆さんは祝福を見ることができます。今でも、人々は、アメリカに行きたいと願っています。自分達の出身地よりも、アメリカに住む方がはるかに良いからです。なぜ、皆そこに行きたいと思うのですか？あっちの方が悪いからですか？いいえ、(アメリカが)はるかに優れているためです。しかし、私が信じるに、アメリカの指導者達が変わり、他の神々、他の場所を求め、悪を行う者になった瞬間…指導者です。私は、ソロモンを、ここで指導者の代表として見ています。そしてもちろん、11節で、主がソロモンに言われました。

「あなたがこのようにふるまい、わたしが命じたわたしの契約と掟を守らなかったので、わたしは、王国をあなたから引き裂いて、あなたの家来に与える。しかし、…あなたが生きている間はそうしない。」(12節)

私が皆さんにお伝えしたいのは、アメリカはいずれ、世界のリーダーとしての世界の表舞台から身を引くでしょう。それは、アメリカが他の神々に従うことを選ぶからです。気候変動の宗教、COVID-19の宗教、LGBTQの宗教、進歩主義、世俗主義の宗教、そして反ユダヤ主義も。皆さんに、お伝えしたいことがあります。これは、指導者がそれを命令し始めると、アメリカ国家が行き着くところです。ホワイトハウスでのオバマの8年間で、あの国にした事を見て下さい。私の祈りは、ソロモンの祈りを、こんにちのアメリカの指導者たちが尊重し、アメリカ全土への祈りとする事です。そして、アメリカの指導者たちが、祈りを求め、教会を開放するように呼びかけ、罪から離れ、悔い改めを呼びかけているのを見る限り、その上、彼らが、胎児の殺害に反対し、反ユダヤ主義的な性質のものに反対し、家族の価値観の崩壊に反対するのを見ると、私はまだ、アメリカに希望を見出し、そして私は心に平安を感じます。これが、アメリカの指導者の声である限り、主は、彼らを維持するという約束を守ってくださるでしょう。指導者達が、神から背を向けた途端、全国民が苦しみ、祝福と神の御手が取り除かれます。やがて、それを見ることになります。2つの討論会を見て、バイデンとハリスを見ていると…まず第一に、私は、これほど嘘をつく人を見たことがありません。ハリスの、リンカーンの言葉の引用でさえ嘘でした。リンカーンは、彼女が言ったようなことを一度も言ったことがありません。全てが嘘でした。しかし、あの笑顔や傲慢さを見ていると、まるで、敵、サタン自身が、彼らを通して微笑みながら、人々を誘い込んでいるようでした。「私に投票しなさい。私が新しい顔だ。私のほうがよく知っている。」ほら、気候変動の問題が出て来るたびに、彼らは調子づいて、「得意の話題だ。まかせろ」全て、嘘である事が証明されているにも関わらず。あの人達によると、地球は10年前に、すでに滅びるはずだったんです。パリ気候協定から撤退した後、米国は有毒ガスの排出削減で、最先端である事をご存知でしょうか？その事を、ご存知ですか？それでいながら、雇用を維持し、経済を維持してきたのです。何の為に？汚染し続け、誰もその責任を負わない国の為にです。一つ、言わせてください。全部フェイクで、全てがデタラメです。私が言えるのは、気候変動や性別の混乱、再定義など、これらの宗教は、もし、彼らがこれらの神々を推進し始めるなら、それらが最終的に、世界中の全ての国を滅ぼします。私は、心の底からアメリカの指導者達の為に祈ります。彼らが、神のみことば、祈り、悔い改め、胎児の権利に堅く立つように。また、エイミー・バレット判事が一日も早く、上院で承認されることを祈っています。

そして、トランプ大統領が、勝利を収めるだけでなく、地滑り的な勝利を収め、両院が共和党の支配下に置かれ、そして、多くのひどい市長や知事が、取り除かれ、国民を愛し、神を愛する良い人が置かれるよう祈っています。では、お祈りしましょう。

お父様、あなたのみことばに感謝します。今日も、あなたのみことばが真理であることに感謝します。それは現代でも、世の中がどうなっているかを映し出す鏡です。あなたの約束は変わらず、あなたの祝福は変わらず、あなたの警告は変わりません。そして、ソロモン王が、神殿を捧げた式典で、あなたが彼に話されたのと同じことを、大統領選を迎えるアメリカの人々に、同じように語ってください。

お父様、コーカサスの状況のためにもお祈りします。アルメニアと、アゼルバイジャンの戦争が終息することを祈ります。無実の人々が無駄に命を奪われることがありませんように。お父様、私達がここにいる限り、悪の勢力が抑えつけられるように、お祈りします。私達がここにいる限り、彼らに支配はさせません。私達の日数は数えられています。すぐに、本当にもうすぐ、あなたが、私達をここから連れ出してください。しかしそれまでは、お父様、義を祈ります。悪を暴き、その悪に加担しないように。お父様、あなたのみこころが成りますように。あなたのすべての約束、あなたのすべてに感謝します。イスラエルの聖なる方、イエス、イエシュア・ハマシアの比類なき御名によって、すべてをお祈りします。

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。**
(民数記6:24~26 ヘブライ語)

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。**
(民数記6:24~26 英語)

すべての理解を超える平安、唯一、平和の主である平和の君だけが、今も後も、とこしえまでも、いつでもどこでも、平安を与えることが、おできになります。主の御名はイエシュア、主は私達の救い、主は私達の贖い、神の子羊、平和の君、インマヌエル、ユダ部族の獅子であり、私達と共に支配、統治するために戻って来られ、御口の息で邪悪な者たちを殺します。

主の御名によって、お祈りします。
アーメン。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.10.29 (Thu)